



大阪市立大学 Osaka City University 

世博記念フォーラム
オープンソース活用の実際
 地域の情報化支援とOSSの活用

大阪市立大学
 創造都市研究科/学術情報総合センター

中野秀男 [検索]


July/2010 OSSの活用 1

大阪市立大学 Osaka City University 

話題提供

- 杉田さんのプレゼン資料から
- OSS/FLOSSは何が問題なの？
- SSでの議論
- KOF
- OSC
- OSSの周辺で起こっていること
- OSS/FLOSSと社会
- 地域情報化とOSS, 中小企業とOSS


July/2010 OSSの活用 2

大阪市立大学 Osaka City University 

Google Group 集計 2009-7-18

		日本	中国
全体	総数	19,416	156,392
	コンピュータ	942	7,732
	オープンソース	49	311
プラットフォーム	Linux	31	579
	BSD	1	23
Database	PostgreSQL	1	6
	MySQL	2	61
IDE	Java, J2EE	31	693
	Eclipse	2	23
	Framework, JSF, Hibernate	1	72
アプリケーション	ERP	2	143
	組込	2	158
	Web	206	624


3

大阪市立大学 Osaka City University 

杉田さんSS2010:OSS事情

- 中国では日本と同じようにOSSを使うことができるか？
- コミュニティ活動でのネックは存在するか？
- ビジネスの可能性はあるか？


4

大阪市立大学 Osaka City University 

杉田さんSS2010:結論


- ソフトウェア開発の現場では、かなり(日本以上に)OSSを活用している。
- コミュニティ
 - 活動予算の伴うものは組織に所属する必要がある。
 - 一般的なコミュニティ活動は、結構盛んであるが、ほとんどはインターネット上での活動が中心。
- OSS中心のビジネス活動は？

5

大阪市立大学 Osaka City University 

杉田さんSS2010: Googleが中国から撤退


- 政府規制への対応
- 香港でサービス継続
- 本土では使えない
 - APPS,Group,
- コミュニティ・インフラはどこへ？
 - 百度
 - Yahoo China

大阪市立大学 Osaka City University 

OSS/FLOSSは何が問題

- 定義問題
 - OSSとは
 - WindowsのScript, Mac/iPhone,iPad programming
 - AndroidスマートフォンのJava programming
 - コミュニティ
 - 皆で作る物は良いものか?
 - ビジネス/プロフィットモデル
 - 運用で


July/2010 OSSの活用 7

大阪市立大学 Osaka City University 

OSS/FLOSSは何が問題(続)

- カテゴリー別で
 - OS
 - Office Suite
 - Browser
 - CMS
 - LAMP, 組み込み, 端末
- 何故使われないのか/住み分けできないの?


July/2010 OSSの活用 8

大阪市立大学 Osaka City University 

OSSと商用ソフト

- OSS
 - Freeの考え方とコミュニティの存在
- 商用ソフト
 - モデルがシンプル
 - 作り手/売り手とユーザ
 - 競争/責任と価格
- OSSはコミュニティの存在がモデルを複雑に?


July/2010 OSSの活用 9

大阪市立大学 Osaka City University 

SSでのOSS/FLOSSの議論

- SS: ソフトウェアシンポジウム
 - SEAのメインシンポジウム
- SS2006: 熊本(セキュリティ、ネット、OSS)
- SS2007: 新潟(FLOSS)ひろのぶ氏のまとめ
- SS2008: 高松(FLOSS)
- SS2009: 札幌(FLOSS)
- SS2010: 横浜(中野がとりまとめた報告)


July/2010 OSSの活用 10

大阪市立大学 Osaka City University 

SS2006での議論

- ネットワークトラフィックのモデル化
- 時刻サーバ
- FLOSS
 - 情報共有の大事さ:Wikiの利用など
 - FLOSSは作品か、製品か
 - 両方の良さを活かす段階に入ったのでは
- ソフトウェア流通の脆弱性


July/2010 OSSの活用 11

大阪市立大学 Osaka City University 

SS2008/FLOSSの議論

- コアメンバー/ヘビーユーザと一般人の狭間
- FLOSSを広めないと技術力で世界に負ける
- FLOSSを広めるための戦略と戦術
 - カリスマの育成
 - 外国で有名になって帰ってくる
 - 外圧
 - FLOSS講義を作って大学に押し売り


July/2010 OSSの活用 12

大阪市立大学 Osaka City University 

SS2009での議論

- FLOSSとコミュニティ
- FLOSSの脆弱性
 - JVN, Distribution Team, コミュニティ
- 大きなソースコードへのアプローチ
 - ドキュメントを読む。アルゴリズムの理解
- 開発者養成: 何人必要(ドメインごと)
 - IT技術者は100万人


July/2010 OSSの活用 13

大阪市立大学 Osaka City University 

SS2009での議論(続)

- AppleはFLOSSではない
- ビジネスの世界とFLOSS
- 認定,LPI: FLOSS的な認定でどうですか
- 勉強会 所謂勉強会、先端の話

July/2010 OSSの活用 14

大阪市立大学 Osaka City University 

KOF(Kansai Open Forum)

- ・ 2002年春から夏にかけて
- ・ 秋葉原のオープンソース祭りの大阪版をやろう
- ・ 関西オープンソース・F *
- ・ いろいろあって関西オープンフォーラム
 - 関西オープンソース
 - コミュニティ大決戦の2つで構成
- ・ 併設もやった(Linux, BSD, Debian)
- ・ コミュニティなのでMAC やWindows 系も


July/2010 OSSの活用 15

大阪市立大学 Osaka City University 

KOF2002-KOF2010

- <http://k-of.jp/2002/> KOF2002
- <http://k-of.jp/2003/> KOF2003
- <http://k-of.jp/2004/> KOF2004
- <http://k-of.jp/2005/> KOF2005
- <http://k-of.jp/2006/> KOF2006
- <http://k-of.jp/2007/> KOF2007
- <http://k-of.jp/2008/> KOF2008
- <http://k-of.jp/> 現在のKOF


July/2010 OSSの活用 16

大阪市立大学 Osaka City University 

KOFをやってみて

- 関西のコミュニティが集まる場になった
- 秋はKOFと認知される
- プロフィットモデルもうまく機能
 - 会場費無料が大きい
 - 人件費なし:ボランティア
- 次のステップへ
 - 自治体との連携、中高生
 - 中小企業での活用


July/2010 OSSの活用 17

大阪市立大学 Osaka City University 

KOFの参加者

- 今まで
 - オープンソース系の開発者
 - オープンソース系のヘビーユーザ
- コミュニティ
- ちょっとビジネスも
 - 構築・運用できる会社がいくつも関西に
- これから
 - ライトユーザ, クリエータ, 中高生


July/2010 OSSの活用 18

大阪市立大学 Osaka City University 

OSC(1)

- OSC(Open Source Conference)
- 日本各地
 - 札幌、仙台、東京(春秋)、名古屋、京都
 - 神戸、福岡、大分、沖縄
- KOFではボランティアと複数のリーダー
- でも金銭問題も含めて事務方はしんどい
- でも場所は提供できる


July/2010 OSSの活用 19

大阪市立大学 Osaka City University 

OSC(2)

- ビギネットさんが事務方
 - KOFとProfitモデルが違う
- 会場提供とボランティア
- 札幌のLOCALがNPOに
- ちょっとマンネリかな
- 政府や自治体への呼びかけ


July/2010 OSSの活用 20

大阪市立大学 Osaka City University 

1ユーザとして

- WordPressとOpenPNEをインストールして
 - 自宅とSEAのドメイン
- オープンソースの進化
 - 昔ならソースをいじって「make world」
 - MySQL、PHPの上で動作
 - 管理画面、configuration、Package、PHPソース


July/2010 OSSの活用 21

大阪市立大学 Osaka City University 

OSS/FLOSSと社会

- 適当なバランスとビジネスの世界
 - Microsoft : Apple : OSS/FLOSS : Google?
 - 情報システム、クライアント、組み込み
- コアメンバー、濃いユーザ、ユーザ
- 残す問題点
 - 脆弱性、メンテナンス
 - ビジネスモデル


July/2010 OSSの活用 22

大阪市立大学 Osaka City University 

地域情報化とOSS

- Linux, OpenOffice.orgの導入にはためらいが
- さりとて予算が徐々に減っている
- 金がない時は創意と工夫
- OpenOffice.orgの採用を考えている自治体が増えて来た

July/2010 OSSの活用 23

大阪市立大学 Osaka City University 

中小企業とOSS

- 導入にためらい
- 理解できる人が少ない
- OSSな人は変な人が多いので受け入れられない
- 取引上のデータ互換の問題
- まあ教育宣伝活動かな
- 政府/自治体の動きにもぶいかな

July/2010 OSSの活用 24
